

第 13 回南砺市小・中学生科学展覧会

9月16日(土)、17日(日)の2日間、井波総合文化センターにおいて第13回南砺市小・中学生科学展覧会を開催しました。市内の小学校より84点、中学校より32点が出品されました。今年度も、「〇〇の研究パート△」等、数年にわたり継続して研究している作品、身近な生き物や自然、環境等をテーマとして研究する作品、工夫された題名が付いた作品が多く見られました。



授賞式の際に、審査委員長の城端中、溝口校長先生より、「子供らしい着眼点、野帳等に見られる努力、自分の研究の足跡の見せ方等の表現力が素晴らしい。今後は、うまくいったことだけでなく失敗したことの記録やその失敗を生かした研究も大切にして進めることも考えてほしい。」などの講評をいただきました。また、来場者の皆さんは、時間をかけて子供たちのがんばった様子に感心しながら見ていられました。

審査の結果、以下の作品が優秀賞に選ばれ、内5点が10月19日(木)～23日(月)に富山市の科学博物館で行われる県科学展覧会に出品されます。



作 品 名	学校名	年	名 前	県出品
たね・たね さがせ	福光東部小	1	山越 朋貴	○
こん虫のけんきゅう パート2 ～水にうく忍者アメンボのひみつをさぐる～	井波小	2	今藤 光希	
スーパーボール研究 パート2 ～1番はずむスーパーボール作り～	井口小	3	柳田 赳澄	○
改良100回 わりばしとコピー用紙で作った丸凧は飛ぶのか	福光南部小	4	湯浅健一郎	
肥料を変えてバケツ稲を育てる	福野小	5	安達りん檜	○
スーパーボールロケットの秘密を調べよう	城端小	6	木村 駿太	
パンの発酵についての研究 part2	福野中	2	鶴居 成美	○
電気パート6 ソーラーパネルで光発電を調べよう	吉江中	2	花木翔士也	
人工時計 ～蚊取り線香で時計を作ろう～	吉江中	2	森田 真央	
落ちるな 落ちるな パラシュート！	吉江中	2	山越 太陽	○

今年の夏季研修会に来てくださった講師の先生方の多くは、その講話の中で「AIロボットが活躍する時代」について触れておられました。先生方のお話から、「間違いから考えること、自分の意思で選ぶこと」という私たちが大切にして児童生徒に指導してきた過程をこれまで通り自信をもって実践していくことの重要性を再認識することができました。また、そんな仕事に携わっているということに身の引き締まる思いがしました。(高田)

教育センターだより



外国語活動・英語科の先行実施に向けて

南砺市教育センター 所長 城 岸 毅

我が家の孫が通っている保育園でも、週1回ほど英語に触れる時間があるそうです。

夏休み中のことですが、東京に遊びに行ったときの出来事を娘から聞きました。

以下は、レストランで食事をしたときの年長の孫と店員さんのやりとりです。

孫：「どんなジュースがありますか？」

店員：「アップルジュースとオレンジジュースとグレープフルーツジュースがありますよ。」

孫：「アップルジュースって何ですか？」

店員：「りんごジュースのことですよ。」

孫：「アポーのことか。」

店員：「アップルじゃなくてアポーだね。ごめんね。」

娘は一瞬6歳にもなって、アップルジュースが分からない我が子を恥ずかしく思ったそうですが、「アポーのことか。」という言葉に大笑いしたとのことでした。

平成30年度から段階的に始まる小学校の外国語活動・英語科の先行実施に向けて、今年度から南砺市教育センターでも研修会を企画・実施しています。

これまで、関西外国語大学中嶋洋一先生を講師にお迎えした研修会や市内小中学校の先生を講師として2回の研修会を行いました。

いずれの研修会も、私が中学生の時に習った授業スタイルではなく、教師とALTとのやりとりがあり、チャンツやゲームを取り入

れたり、音(リズム)や映像を取り入れたり、聴覚・視覚に訴える活動的な授業内容が紹介されました。

中嶋先生が紹介された映像の中の生徒たちや福光南部小学校の児童のスピーキングやヒヤリングの能力の高さは、学生時代英語に苦しんだ私にとって、大きな驚きでした。また、中・高・大と8年間も英語を勉強してきたのに、児童生徒が理解できる英語を、私はほとんど聞き取ることができなかったという現実に、かなり自己嫌悪に陥りました。

中学生の時は、英語の成績は優秀だという多少の自負がありましたが、高校で学年が進むにつれ、英語は私の「アキレス腱」となり、大学入試では「英語さえ受験科目に無かったら、俺の人生変わるのに！」と思うようになりました。

英語に触れる年齢は、だんだん低年齢化していくようです。リーディング・ヒヤリング・スピーキング、自分の英語力に不安をいだいている先生方も多いように思われます。しかし、平成32年度からは、小学校の外国語活動・英語科の授業が完全実施されるわけです。31年度までの移行期間にどれだけの準備ができるか、市教育センターでも、先生方のニーズを反映した研修会の企画に努めたいと考えております。



南砺市適応指導教室「いおう教室」について

「いおう教室」は福光地域の中心部、青少年センターの3階にあります。



学校と連絡を取りながら学習の支援を行っています。

いおう教室では、一人一人が自分のペースで学習できるように支援するとともに、自立心の育成と集団活動への適応に向けて4人の指導員で支援しています。



卓球

指導員と体を動かして触れ合い、心の解放を図ることもあります。



巨大シャボン玉づくり



調理と会食

小・中学校の先生が来室され、情報交換や通級生との心のつながりづくりなどに役立てておられます。

臨床心理士の先生との面談や富山県総合教育センターの訪問指導員の訪問の機会もあります。また、臨床心理士の先生から「いおう教室」の運営の助言も受けています。

通級生と相談しながら楽しい行事も実施しています。



教室内は、季節に合わせた通級生の作品で彩られています。

「アウトリーチ型支援」について

富山県の「問題を抱える子ども等の自立支援事業」の一貫として、県内数か所の教育センターが「アウトリーチ型支援」を行っています。南砺市教育センターでも、昨年度から実施しています。

事業内容：学校や適応指導教室に通うことが困難な不登校児童生徒に対して、家庭訪問等を通じての相談、学習支援等を行う。

まずは、スクールソーシャルワーカー・特別支援教育コーディネーターの菊地、吉田、酒井にご相談ください。個々の児童生徒の実態に合う支援の方法について相談させていただきます。

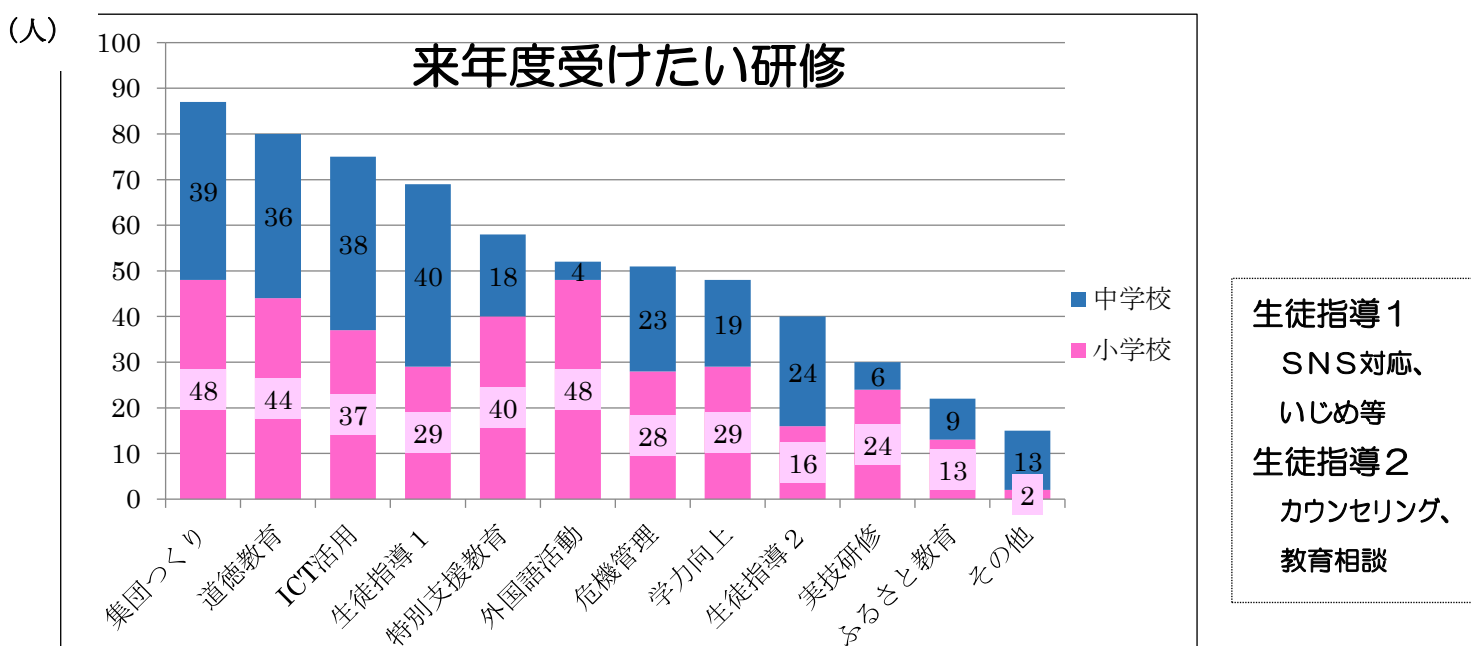
(南砺市教育センター 相談専用電話 ☎ 82-8301)

多数のご参加ありがとうございました

教育センター主催の夏季研修会に多数参加いただき、ありがとうございました。どの研修会においても、参加された先生方が、真剣に講義を聴いたり意欲的に演習に取り組んだりしておられました。各研修会で学ばれたことが2学期からの先生方のご実践に役立っていることと思います。



下表は南砺市学校教育研究大会に参加された先生方に、来年度の研修についてのご意見を聞かせていただいた結果です。



先生方の希望や現場のニーズ、学校現場に求められていること等を考慮するとともに、先生方の負担を少しでも軽減できるように配慮して来年度の計画を立てていきたいと思っております。なお、来年度は「南砺市学校教育研究大会」は「南砺市教育講演会(仮称)」と名称と運営方法を変え、8月10日(金)実施の予定にしております。

お知らせ

体育指導法(スキー)研修会

日時 平成30年1月5日(金) 午後1時30分～

場所 イオックス・アローザスキー場

講師 公認スキー指導員



※ 詳細は11月中旬に各学校に案内します。

多数のご参加をお待ちしております。

小学校外国語活動・英語科導入に向けての研修会

新学習指導要領の全面実施に向けて、2018年度から、小学校は2年間、中学校は3年間の移行期間が設けられています。小学校の外国語教育のねらいに迫るための指導の在り方、また、中学校の入門期の指導で心がけることなどを研修する機会として計画いたしました。

外国語活動、英語科の指導で優れた実践をなさっておられる南砺市の先生方が指導していただきます。研修内容は、随時研修だよりでお知らせしていきます。新学習指導要領実施に向けての準備に役立っていただければ幸いです。